

石川インドネシア友好協会 設立30周年記念大会

恵子・マンデラさんの 「バリ」に嫁いで」 講演会

インドネシア・バリ島は今や世界的なリゾート地として人気がありまた神々が棲む島としてもよく知られています。

そのバリの名家プリアタン王家に嫁ぎ、現在、豪華五つ星クラスのヴィラのオーナーとして、また、バリ伝統舞踊団のマナージメントに携わり、画家としても活躍している、恵子・マンデラさんをお招きし、王家に嫁いだ妻として、3人の息子の母として、ホテルのオーナーとして、芸術家としての様々な体験やエピソードをお話していただきます。



【恵子マンデラさんのプロフィール】

愛知県出身。名古屋造形芸術短期大学卒業後ユネスコやアジア文化交流センターの活動で東南アジアを訪問。1983年からボロブドゥール（世界遺産）修復作業のためインドネシアを訪問中、バリ舞踏家のマンデラ氏と出会い、1988年、氏の長男と結婚。以後、インドネシアの文化や芸術を積極的に日本に紹介し、両国の芸術深交を結び事に尽力する。またマンデラ家主催のプリアタン歌舞団のマナージメントほか、ウブドの高級ホテルのオーナーやコーディネーターをつとめ画家としても活躍している。

アグソ・グンデ・イスワラ・マンデラ氏の「バリ舞踊」

バリの伝統的な踊りのひとつ、「レゴンダンス」で、演目は「クビヤール・ドゥドゥック」と「トゥルナジャヤ」です。恵子・マンデラさんのご子息で、バリのウブド王室のプリアタン舞踊団で活躍しています。

ティアラ・チャンティの「バリ舞踊」

演目は「ペンデット」です。元々は、ヒンズー寺院の祭礼のために踊られましたが、近年は歓迎のダンスとして踊られることも多いです。正装に身を包んだ男女がガムランの音色に合わせ、香炉や聖水供物などを手に持ち場を清めるために踊ります。



レゴンダンス

バリの伝統舞踊の中でも、有名なものがこのレゴンダンスです。レゴンダンスは、元はバリの宮廷舞踊に端を発します。バリ王朝から伝わる叙事詩や恋愛物語、はたまた戦いの物語まで、様々な物語を表現しています。

色とりどりの美しい布を使用した衣装は、舞台の上でとても映えます。頭飾りも独特で息を呑む美しさがあります。体全体の動きはもちろんのこと、指先の一本一本まで気を配った踊りはとても綺麗です。

また、大きく見開いた瞳と、その視線までもが大切な動きで、美しさに圧倒されます。

Tiara Chanti

(ティアラ チャンティ)

2002年に、1980年代から長年バリに滞在し現地の祭礼などで踊っていたYukie(現在もバリ在住)が結成したバリ舞踊グループです。東京と金沢を拠点として、自主公演やダンスWSを主催、また神社仏閣及び国際交流イベントなどで公演しています。



石川インドネシア友好協会の主な活動

- ・昭和60年(1985)5月に設立
- ・インドネシア語講座の開講
- ・インドネシア映画会の開催
- ・インドネシア訪問ツアーの実施（ほぼ毎年）
- ・インドネシアで活躍した旧日本兵の墓参
- ・大地震、大津波の義捐金を募金。現地へ届ける。
- ・石川県、金沢市、JAPAN TENTなどの国際交流イベントに参加。バリ舞踊、インドネシア料理、雑貨販売などを行う。



石川インドネシア友好協会

〒920-0981 金沢市片町2-31-30 ソシアルレジャックビル

事務局：木下090-2033-0437 小幡090-3762-6858

URL:<http://indonesia-ishikawa.com>